



LIBERAL DEMOCRATIC PARTY KATSUSHIKA CITY ASSEMBLY

# 自由民主党 会報

令和7年  
2025  
7月号



ホームページもチェック!

葛飾区議会 自由民主党議員団

検索

jimin-katsushika.com

## 令和7年第二回定例会が開催されました

### 一般質問



秋本とよえ

#### ◆区民の安全・安心な生活環境を守るための安定した区政運営

##### ◆区政の現状と将来展望

**問** 現在の区政の状況についてどのような認識を持って区政運営に当たっているのか。

**答** 物価上昇に賃金の伸びが追いつかず区民生活の負担感が増しているものと認識している。区政を取り巻く課題は複雑多様であり、今後とも、生成AIなど新たな技術なども取り入れながら時代のニーズを先取りしつつ、区政運営に当たっていく。

※他の質問項目 今後の選挙 など

##### ◆農地の保全

**問** 今後の農地の保全・活用についてどのように取り組んでいくのか、見解を伺う。

**答** 農地の保全については、農業者に対する各種補助を行うほか、貸し手と借り手の条件に合わせたマッチング支援を行うなどの取り組みを始めた。また、従来作られてきた農作物に加え新たな品目に挑戦する農業者も増えている。これらの新しい挑戦や、利益につながら栽培方法などへの支援も含め、関係者と意見交換を行い、農地の保全・活用を進めていく。

※他の質問項目 区有地の活用 など

##### ◆放課後事業の在り方

**問** 将来的な児童数や学童保育に対する需要予測を踏まえ、学習センターや校庭を開放して放課後等の過ごし方についても充実させ、安心して子どもたちが過ごせる空間を創出してほしいと考えるが、見解を伺う。

**答** 関係部署や学校、関係団体と具体的な方法について検討を深めていく。

※他の質問項目 待機児童解消 など

##### ◆環境衛生対策、特に区内の食品衛生対策

**問** 食品関連等の事業者に対し、最新の衛生知識の提供

や害虫対策、施設の適切な管理方法など、変化する状況に対応するための定期的な研修や情報提供が不可欠だと考えるがどうか。

**答** 食品衛生協会等関係団体と連携しながら支援をしていく。

※他の質問項目 小規模店舗への支援 など

##### ◆民泊

**問** 民泊や旅館業等宿泊施設に関連する近隣トラブルの未然防止や悪質な事業者に対する指導などについて、条例を定めて強化すべきと思うがどうか。

**答** 民泊事業に関しては区独自の条例を制定し、旅館業については条例改正を含め実効性のある対策を検討する。

※他の質問項目 事業者との連携による観光振興 など

##### ◆亀有地域のまちづくり

**問** 亀有駅北口は再開発を待つのではなく、改善できるところから着実に取り組むことが重要だと思いがどうか。

**答** 駅周辺の土地利用の動向に注視しながら、区民参加による街づくり支援制度をより使いやすく見直すなど、引き続き地域の皆さまをはじめ関係機関なども課題の共有を図りながら改善に向けて検討を進めていく。

※他の質問項目 西亀有地域のデマンド交通 など

### 一般質問



高木信明

#### ◆今後の安定した財政運営と決議で求めた全容説明について

##### ◆新総合庁舎の整備と今後の安定した財政運営

**問** 今後、新総合庁舎整備をはじめ、公共施設の長寿命化などの経費の増加は避けられない。中・長期にわたる財政計画を作成し、議会に示すべきと考えるが、区長の見解を伺う。

**答** 社会経済状況が大きく変化している中で、将来の収入や支出を見積もり、中・長期にわたる財政計画を作成することは、困難であると考えているが、そうした中でも、さまざまな施策を着実に推進していくため、積立基金や起債の活用など、今後の財政運営の考え方をまとめた財政運営方針の策定について検討していきたい。

※他の質問項目 学実施計画の財政フレームの見直し など

#### ◆バルサアカデミー葛飾校に関わる決議で求めた全容説明

**問** 東金町運動場の優先利用についての今後の方針は、区民第一を踏まえ、どのように考えているのか伺う。

**答** 今後、東金町運動場だけでなく体育施設全体の利用の在り方について改めて検討し、体育施設をより有効に活用した区民スポーツのさらなる活性化を推進していく。

※他の質問項目 調査体制 など

#### ◆区民の生命と財産を守る防災・減災対策の強化

**問** 今後、防災訓練に外国人住民の参加を促すための工夫や、訓練を通じて相互理解を深める具体的な取り組みを進めていく必要があると考えるが、区の見解を伺う。

**答** 地域のイベントや交流事業に外国人住民の参加を促すなど、双方の関係性の構築に向けた支援を継続し、共に災害に立ち向かえる災害に強いまちづくりにつなげていく。

※他の質問項目 住宅用消化器の設置率の伸び悩み など

#### ◆いじめ、不登校、自殺対策

**問** 発見が難しいネットいじめや、児童・生徒間の力関係・人間関係の中で行われる関係性のいじめに対応するための現状の取り組み、課題、今後の方向性を伺う。

**答** 道徳科の授業を中心に、いじめは許されないことなどを指導している。今後の課題は、児童・生徒がSOSを発信しやすい仕組みづくりや心や体調の変化に児童・生徒自身や教員が早期に気づき、相談につなげていける取り組みを充実させることと考えている。1人1台タブレット端末の活用も含め、検討を進めていく。

※他の質問項目 いじめ、不登校の発生件数の現状 など

#### ◆お花茶屋のまちづくりと区内商店街振興

**問** 区内の商店街は、空き店舗の増加をはじめさまざまな課題があるが、今後商店街支援にどのように取り組んでいく考えなのか伺う。

**答** 商店街への補助などの支援だけでなく、区の観光、地域振興などさまざまな分野における地域の取り組みとの連携も調整し、商店街運営の課題に対する支援を強化する。

※他の質問項目 新ビジネスに挑戦する場としての空き店舗の活用 など

# 常任委員会ダイジェスト

区政に関わる案件をより能率的、専門的に審査する為に、各議案は事務部門別に設置された4つの常任委員会に付託し、議論しました。

## 総務委員会



大森委員、秋家委員長、峯岸委員

令和7年度一般会計補正予算、葛飾区特別区税条例の一部を改正する条例や工事請負契約締結などの議案や請願の審査のほか、地域経済活性化対策、こち亀記念館の運営状況、区民と事業者の健康活動促進に係る取り組み状況、総合庁舎整備に係る保留床取得、金町区民事務所における納付済み各種保険料等の消失についてなどの、所管事項の庶務報告を受けました。

わが会派は、補正予算や議案は妥当であると賛同した上で、区民事務所での各種保険料の消失を受けての防犯カメラの設置はもちろんのこと、職員に対する指導も徹底するよう要望しました。

## 保健福祉委員会



齊藤副委員長、筒井委員、高木委員

葛飾区保育所の保育料等に関する条例の一部を改正する条例などの議案審査のほか、補正予算、福祉施設等への物価高騰緊急対策費助成、第一子保育料無償化に伴う子育て世帯の負担軽減策の拡大実施、高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業の実施、宿泊施設の適正な運営に向けた取組、婚活支援事業などの所管の庶務報告を受けました。

わが会派は、区長提出の議案に賛同した上で、宿泊施設の適正な運営にあたっては、空き店舗が、地域の方が知らないうちに民泊になっていたこともあるため、できるだけ速やかに条例をつくることを念頭に対策するよう要望しました。

## 建設環境委員会



安西副委員長、伊藤委員、秋本委員

葛飾区地区計画及び防災街区整備地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の議案審査のほか、全国みどりと花のフェアかつしか、リチウム蓄電池の収集、新宿交通公園のリニューアル、東新小岩運動場の都市計画手続き、緑のリサイクル事業などの所管の庶務報告を受けました。

わが会派は、区長提出の議案は妥当であると賛同した上で、みどりと花のフェアの実施にあたっては、費用対効果を十分精査し、単なる一過性のイベントとならないようにすることを強く要望しました。

## 文教委員会



工藤委員、池田委員長、梅沢委員

葛飾区体育施設条例の一部を改正する条例などの議案や請願の審査のほか、補正予算、二上小学校及び宝木塚小学校の改築、学校給食費の改定、柴又地域統合小学校基本構想・基本計画(案)、いじめによる重大事態の発生、かつしかチャレンジプログラム、「ことばの教室」の増設、令和7年度における学童保育クラブの取組、お花茶屋図書館の改修などの所管の庶務報告を受けました。

わが会派は、区長提案の議案は妥当であると認め賛同した上で、給食の食材調達にあたっては、食への関心、教育的効果も図るため、できるだけ、かつしか元気野菜などの地元産の食材も仕入れていくよう要望しました。

## 京都・広島サッカースタジアム視察報告

### — 東新小岩サッカースタジアム構想に向けて —

葛飾区では、東新小岩地域を候補地とした新たなサッカースタジアム整備構想が検討されています。このたび私たち自民党葛飾区議団は、先進事例として全国的にも注目を集めている京都府亀岡市の「サンガスタジアム by KYOCERA」、広島市の「エディオンピースウイング広島」の2つのスタジアムを視察してまいりました。

まず、京都・亀岡市にあるサンガスタジアムは、駅徒歩3分という好立地に加え、21,600人収容可能なスタジアムです。特徴的なのは、ピッチと観客席の距離が非常に近く、どの席でも試合の臨場感が味わえる構造になっている点です。さらに、スタジアム内にはフードコートや会議室、スポーツクライミング設備などが整備され、地域住民が日常的に利用できる多目的空間として機能していました。

一方、広島市の「エディオンピースウイング広島」は2024年に開業したばかりの新しいスタジアムで、収容人数は約28,500人。広島の平和都市としての理念を反映し、「ピース(平和)」をテーマに設計されています。スタジアムは公園と一体化しており、平日でも人々が散歩や飲食を楽しむ姿が見られました。都市中心部に立地しているため交通アクセスも良く、地域経済や観光振興の起点としての役割も果たしています。またマンションなど住宅街に隣接していることから、葛飾区と立地条件が非常に近く、地域住民への騒音の対策など、様々な工夫が盛り込まれた設計となっていました。

両スタジアムに共通している事は、スタジアムが単なる「競技の場」ではなく、地域のにぎわいと誇りを生み出す「交流と経済のハブ」として機能している点です。両スタジアムとも、試合のない日にも地域住民が訪れる設計がなされており、年間を通じた賑わいの創出に成功していました。



「サンガスタジアム by KYOCERA」での視察



「エディオンピースウイング広島」での視察

今後、葛飾区においても、単に試合を開催する場所ではなく、地域文化・教育・商業などと連携した複合的な施設として計画を進めることが求められます。東新小岩という地域特性を活かし、JRやバス、自転車など多様な交通アクセスを前提とした立地整備、区民が平日でも活用できる開かれた施設づくりが重要です。

また、建設にかかる費用も京都では約167億円、広島では約271億円とされています。葛飾区としては、規模や機能を精査しつつ、区民への説明責任を果たしながら、堅実で実現可能なスタジアム計画を検討する必要があると考えます。

私たち自民党葛飾区議団は、今後もこうした先進事例の研究を通じて、区民の皆さまに夢と誇りをもたらすまちづくりを進めてまいります。



■発行/葛飾区議会自由民主党議員団(葛飾区立石5-13-1)  
■電話: 03-3695-1111  
■発行責任者/筒井たかひさ  
■編集長/齊藤大介  
■編集委員/梅沢よかず 高木信明

お気軽にご意見をお寄せください!  
葛飾区自民党HP

